

揚 州 大 学

2020 年 碩 士 研 究 生 招 生 考 試 初 試 試 題 (A 卷)

科目代碼 820 科目名称 基礎日語

満分 150

注意：① 認真閱讀答題紙上的注意事項；② 所有答案必須寫在答題紙上，寫在本試題紙或草稿紙上均無效；③ 本試題紙須隨答題紙一起裝入試題袋中交回！

一、下記の漢字を平仮名に直しなさい。(0.5 点×20=10 点)

- | | | | | |
|---------|---------|--------|--------|--------|
| 1. 望郷 | 2. 不気味 | 3. 匹敵 | 4. 偶発 | 5. 雑木林 |
| 6. 凸凹 | 7. 本音 | 8. 頑丈 | 9. 格闘 | 10. 薄情 |
| 11. 巖密 | 12. 殺風景 | 13. 愛嬌 | 14. 封印 | 15. 忍耐 |
| 16. 過不足 | 17. 詐欺 | 18. 習性 | 19. 衣裳 | 20. 怠る |

二、下線のカタカナを漢字に直しなさい。(0.5 点×20=10 点)

1. 危ないから、ヤケドをしないように気を付けてください。
2. 彼は、親が残してくれた財産を放棄するとメイゲンした。
3. 富士山をハルかに望む。
4. 父はその人のソウシキに出るために、朝早く家を出た。
5. 今日、マアタラしい着物を着ているが、何かいいことでもあるのか。
6. 宮崎のマチナミがとてもきれいだ。
7. 自分の好きな本はいつもミチカに置いてある。
8. この指輪は亡くなった母からユズられたもので、ずっと大切にしている。
9. 話にはフクミを残しておいたほうがいい。
10. 朝起きると、まずお茶を飲むナラわしが今も残っている。
11. 超音波検査で胃にイジョウが認められた。
12. 秋はシュウカクの季節だ。
13. 空港のマチアイシツで待ち合わせましょう。
14. しよせん国民とはムエンの選挙戦だ。
15. 皮膚のロシュツした部分が多すぎだ。
16. ムゲンダイの宇宙を前に、われわれ人間は本当に取るに足りない存在だ。
17. 外科が内科の意見を押し切ってゴウインに手術をした。
18. 天津はスドオリで北京まで直行する。
19. 新製品の開発にリキテンを置く。
20. 物が売れるかどうかは景気回復のシヒョウになっている。

三、次の文の_____には、どんな言葉を入れたらよいか。A、B、C、D から最も適当なものを一つ選びなさい。(2点×25=50点)

1. 太陽と_____永遠に輝いているわけではない。いつかは消え去るときがくる。

- A いえども B いったらば
C いえばかり D いったからには

2. 彼の栄光は、きびしいレースを勝ち_____末に獲得したものだ。

- A ぬいて B ぬく
C ぬいた D ぬき

3. 小さい頃、よく泥_____になって弟とけんかをしたものだ。

- A ずくめ B まみれ
C ばかり D みずく

4. 喫茶店で、となりの席の話を聞く_____聞いていたら、私の会社のことだったので驚いた。

- A ばかりか B のみならず
C ともしに D どころではなく

5. 子供のころ、死については_____だに恐ろしかった。

- A 考え B 考えた
C 考えて D 考える

6. こんな風が強い日に小型のボートで沖に出るなんて、危険_____。

- A 極める B 極めない
C 極まらない D 極まっている

7. あまりよく考えないで仕事を引き受けた_____、ひどい目にあつた。

- A わりに B ように
C ばかりに D ところに

8. そんなひどいはずらは、たとえ子供_____許せるものではない。

- A だに B であれ
C だと D にして

9. いつも迷惑をかけていると_____つつも、つい甘えてしまう。

- A 知り B 知る
C 知って D 知れ

10. 大都市にはごみ処理_____、地震対策、交通渋滞など、様々な問題が山積している。

- A をめぐって B をはじめ
C において D にとって

11. 公園のベンチにかばんを置き忘れたことに今気がついた。もう 5 時間もたっているから、もどって____、まず見つからないだろう。
- A さがしてみたら B さがしてみたところ
C さがしてみたのに D さがしてみたところで
12. 主張すべきことは相手がだれであっても主張すべきだ。それによって採用を____それまでのことだ。
- A 取り消されるより B 取り消されるなら
C 取り消さないより D 取り消さないなら
13. そんなことは常識だ。君にいわれる____。
- A はずもない B 必要がある
C までもない D 可能性がある
14. 東京は土地の値段が高く、ふつうのサラリーマンが自分の家を持つことはかなりむずかしい。家を買えるとしても、それは通勤に不便な場所____。
- A ではないだろう B ではあるまい
C にかぎらない D になるだろう
15. 最近、日本では電話料金が下がり、手続きも簡単になった。また電話機も小さくなり、性能もよくなったことから携帯電話の利用者は____。
- A 増えかねる B 減りつつある
C 増える一方だ D 減り気味だ
16. 犯人は買い物をしていた____警官に逮捕された。
- A ところに B ところを
C あいだ D そばから
17. 列に割り込むなど紳士にある____行為だ。
- A まい B まじき
C らしい D べき
18. ああでもない、こうでもないと迷惑をかけたあげく、あの____。
- A かぎりだ B しまつだ
C しまいだ D おわりだ
19. 十代の娘じゃ____そんなはでなりボンはつけられませんよ。
- A ありながら B ありそうに
C あるまいし D あるほどに
20. 風呂の水を____出かけてしまった。
- A だしにして B だしっぽなしにして
C だしつつ D だしおいて

21.あの子はいったん遊びに出たが____、暗くなるまでもどってこない。

- A 終わり B 始末
C しまい D 最後

22.地震のことなど想像する____恐ろしい。

- A だの B でも
C だに D では

23.見舞いに来ない____電話ぐらいはするものだ。

- A からに B までに
C からも D までも

24.結婚をひかえ、家具はもちろん、皿やスプーンに____新しいのを買いそろえた。

- A いたりで B いたっては
C いたっても D いたるまで

25.コンピュータに入れておいても、うっかり消してしまえば____。

- A そのものだ B それまでだ
C そのままだ D それだけだ

四、次の文章を読んで、それぞれの問いに対する答えとして、最も適当なものを A、B、C、D から一つ選びなさい。(3点×15=45点)

文章(一)

どんな人間でも、心に深い感動を受けた時は、それを適当に言葉として表現できないものである。すべて一流の美は、そういう性質をもっていて、私たちに沈黙を迫る。美への愛とは、この沈黙への愛だとさえいってもよい。

(㊦) 本当の理解とは、口に出してうまく言えるかどうかということだけではない。説明が上手だからといって、(㊦)。心の底深くおさめておいて、つまり沈黙のうちに、うなづく場合だってある。

そしてこの沈黙の肯定が一番深いのではないか。すぐれた作品はこれによって支持されてきているのである。

問1、(㊦)に入る適当なものはどれか。

- A. だから
B. それで
C. しかし
D. でも

問2、(⊙)に入る適当なものはどれか。

- A. 理解しようとしている
- B. 理解しているとはかぎらない
- C. 理解するわけにはいかない
- D. 理解しているといえるだろう

文章 (二)

人間は案外、機械と似ている。機械屋の娘だからなのかどうかは分からないが、私は常々そう思っている。

よく「人間は機械じゃない!」とあって、人間を機械のように酷使する社会のシステムを非難する人がいるが、私はその言い分に違和感を覚える。

機械はガソリンや電気が切れれば動かなくなるし、落としたり倒したりすれば壊れる。古くなれば動きが遅くなるし、できないことをやらせようとしてもできない。酷使すれば壊れる。とても正直だ。

ところが人間は、給料、つまり人間にとってのガソリンを減らして前より「一層よく働け」と命令し、過酷な労働を「精神性で克服せよ」と無理難題を押し付け、「疲れた」と申し出る人には「癒せ」と鞭を打ち、休んでいる人や生産性の低い人を「怠け者」と非難し、そしてとうとう壊れてしまった人を「弱い」と非難する。人間が人間を人間と見なせば見なすほど、非人間性は増していく。

人間に無限の可能性や能力や忍耐力なんてない。できることはできるし、できないことはできない。人間はもっと、機械を見習ったらどうだろう。

問3、「機械と似ている」と筆者が考える理由は何か。

- A. 給料が減れば過酷な労働は無理だが、生産性は機械と変わらないから。
- B. 人間は無理難題でも強い精神性で克服し、機械のように強くなれるから。
- C. 機械と同じように、人間はすこしぐらい働きすぎてもすぐには壊れないから。
- D. 人間も酷使すれば壊れてしまうため、その点では機械と変わりがないから。

問4、「人間が人間を人間と見なせば見なすほど、非人間性は増していく」とは、どういうことか。

- A. 人間は頑張ればできるのだと考えて、無理をさせてしまうということ。
- B. 人間を機械のように酷使しても人間性が失われることはないということ。
- C. 人間は働き続ければ、生産性や人間性を高めることができるということ。
- D. 人間は一生懸命働けば機械と同じように生産性を高められるということ。

問5、「機械を見習ったらどうだろう」とあるが、筆者の考えに近いものはどれか。

- A. 機械のように休まずに動いていれば、どんな無理難題でも克服できるだろう。
- B. 機械と同じように、人間性や精神性などはあまり気にしないほうがいだろう。
- C. 機械のように酷使されても壊れず、生産性を高められるようにしたらどうだろう。
- D. 機械のように、人間も無理なことはできないのだと認識したほうがいだろう。

文章 (三)

人に従順な飼い犬は、もともとオオカミの仲間を飼い馴らしたものである。(中略)ところが、「人間がオオカミを飼い馴らした」という話には謎が多い。犬が人間と暮らすようになったのは、15000年ほど前の旧石器時代のことでありと推測されている。当時の人類にとって、肉食獣は恐るべき敵であった。そんな恐ろしい肉食獣を飼い馴らすという発想を当時の人類が持ち得たのだろうか。しかも犬を飼うということは、犬にエサをやらなければならない。わずかな食糧で暮らしていた人類に、犬を飼うほどの余裕があったのだろうか。また当時の人類は犬がいなくても、狩りをするのができた。犬を必要とする理由はなかったのである。

最近の研究では、人間が犬を必要としたのではなく、犬の方から人間を求めて寄り添ってきたと考えられている。犬の祖先となったとされる弱いオオカミたちは、群れの中での順位が低く、食べ物も十分ではない。そこで、人間に近づき、食べ残しをあさるようになったのではないかと考えられているのである。

弱いオオカミだけでは、狩りをするのができないが、人間の手助けをすることはできる。そして、やがて人間と犬とが共に狩りをするようになったと推察されている。こう考えると、当時、自然界の中で強い存在となりつつあった人間に寄り添うことは、犬にとって得なことが多かった。つまり、人間が犬を利用したのではなく、犬が人間を利用したかもしれないのである。

問6、「謎が多い」とあるが、謎に合うのはどれか。

- A. 犬ではなくオオカミを飼おうとしたこと。
- B. オオカミを肉食獣だと思わなかったこと。
- C. 恐ろしいオオカミを飼って利用しようと考えたこと。
- D. 狩りの邪魔になるのに恐ろしいオオカミを飼おうとしたこと。

問7、筆者によると、どのようなオオカミが犬の祖先だと考えられるか。

- A. 人間から頼りにされたオオカミ
- B. 狩りの上手なオオカミ
- C. 群れから追い出されたオオカミ

D. 群れの中で下位のオオカミ

問8、犬の祖先が人間と暮らすようになったきっかけについて、筆者はどのように考えているか。

- A. 人間を利用して仲間からの危険を避けようとした。
- B. 人間に近づいて食糧を得ようとした。
- C. 人間が狩りの手助けをさせた。
- D. 人間がエサを与えた。

文章 (四)

商売は繁盛した。資産もできた。福岡では信用を博し、商人としての地位も安定した。ここまでのし上がり、ことごとく最良の環境に我が身が落ち着いていることを発見した時、内堀彦介は新しい、激しい危惧に襲われてきた。

どこにいるか分からないが、確かにこの世に町田武治が生きている、ということの不安である。

あらゆる犯罪は、単独をもって完全とする。共犯者があればあるほど、破綻の確率は多くなる。世の犯罪の発覚は、いかに共犯者の自供からなされるかは、新聞記事を読んでも分かるのである。

が、内堀彦介が恐れたのは、そのことよりも、今はもっと別な場合であった。つまり、財産ができてみれば、かつての共犯者から、恐喝されるかもしれないという危惧であった。

現在の成功にまだ達しないときには、そのような心配は生まれてこなかった。しかし、財産と安定した地位を獲得してみると、いつ彼から脅迫されるか分からぬ、という新しい恐怖が襲ってきたのであった。

なるほど金と信用と地位は得た。が、それを揺るがすものは、商売の不況ではない。内堀彦介の既往の秘密を握っている共犯者の脅迫だった。財産はできたが、その死命はその男が握っているのだ。ひとたび、脅迫を受ければ、せつかくの財産が枯れるまで、その恐喝は続くに違いない。あの陰性な顔つきをした町田武治という男は、そんなことを充分にしそうな人物に思えた。

内堀彦介は、どこかにいるはずの町田武治が、いつかは自分の成功を知って、目を光らせて歩いてくるような気がしてならなかった。どこかで。——それは、どこにいるか分からない。とにかくいつかは彼は、彦介の財産を嗅ぎつけて、あの陰性な顔を見せに来るに違いない。

いったい、町田武治はどこで、何をしているであろう。彦介は、しだいにそのことが気になってき始めた。

問 9、「我が身が落ち着いている」とは、どんなことか。

- A. 福岡に家建てて定住していること
- B. 結婚し、自分の家庭を持ったこと
- C. 商売に成功し、地位も財産もあること
- D. 精神的なゆとりを感じていること

問 10、「不安」は、どんなことから起こってきたか。

- A. 今は商売に成功し、いい状況にあること
- B. 最良の環境にならないかもしれないこと
- C. 犯罪についての新聞記事を読んだこと
- D. 町田が死んだかもしれないと思ったこと

問 11、犯罪が完全であるためには、どんな条件が必要だと言っているか。

- A. 犯人が一人であること
- B. 犯人が複数であること
- C. 犯行後、隠れ続けること
- D. 犯行後、連絡しないこと

問 12、「そのこと」とは、何か。

- A. 彦介の犯した過去の犯罪には、共犯者がいたこと
- B. 共犯者が、彦介の昔の犯罪について自供すること
- C. 町田は、彦介が一人でした犯罪を知っていること
- D. 彦介の犯罪を知った町田が、金を取りに来ること

問 13、「それを揺るがすもの」とは、何か。

- A. 経済の不況
- B. 経営の失敗
- C. 犯人の逮捕
- D. 共犯者の脅迫

問 14、「その死命」とは、何か。

- A. お金が増えるか減るかということ
- B. 財産を守れるか失うかということ
- C. 彦介が生きるか死ぬかということ
- D. 商店を開くかつぶれるかということ

問 15、内堀彦介が最も恐れていることは、何か。

- A. 今までと同じように、将来も商売が繁盛し続けるかどうかということ
- B. 彦介の成功を妬む人が、事業に失敗するように企むかもしれないということ

- C. 彦介の共犯者が自供し、過去の犯罪が世間に分かってしまうこと
D. 町田に彦介の秘密を話すと脅されて、地位も財産も奪われてしまうこと

五、次の日本語を中国語に訳しなさい。(3点×5=15点)

1. 彼はもともと大金持ちの息子だったが、遊び好きの性格から財産を使いつくして、今はその日の暮らしにも困るぐらい、哀れな身になっている。
2. 遠く木々の間から湖がキラキラと光って見え、草原には黄色い花が一面に咲き乱れている中、僕は草原に寝転んで将来のことにあれこれ思いを馳せた。
3. 彼女は久しぶりに会うわが子を前に、その成長ぶりがうれしいような寂しような複雑な気持ちをどうすることもできないでいた。
4. 中国では、子供のころから少しでもいい大学、いい会社に入り出世することが目指されているので、子供たちは勉強に追われ心にゆとりを持つことができなくなってしまっている。
5. エジプト文化財の展示会だから、お昼を早くして出かけた。博物館の入口にいる目白押しの見物人に尻込みし、結局見ないで帰った。

六、次の中国語を日本語に訳しなさい。(4点×5=20点)

1. 家里人搬走后，那里成了空房子。如今院子里杂草丛生十分荒芜，昔日那始终收拾地很干净整齐的院子已经不见踪影。
2. 大家被迫进行24小时看护，弄得十分疲劳。轮到我的时候，正逢出院的日子，所以只看护了一个上午，还算好。
3. 一看就知道她是一个有教养的姑娘，左邻右舍的口碑也很好，都说她性情温和。
4. 至今我还清楚地记得，小时候母亲经常很忙。别说为我做饭，就连一起吃早饭的时候一次都不曾有过。
5. 天气预报说今年夏天会很热。果真如此的话，可以预计空调的价格会上扬，电力也会不足。

